

③令和 2 年 9 月定例議会 一般質問（10 月 1 日）



1 新型コロナウイルス感染症患者受入れ医療機関に対する支援(知 事)

- 問 新型コロナウイルス感染症患者受入れ医療機関に対する支援は、その奮闘に報いる十分な内容とすべきと考えるが、今後の更なる支援について伺う。
- 答 医療提供体制の維持・確保のため、医療機関の経営状況なども把握し、その奮闘に報いる様支援を行い、国に対しても働き掛けを行う。

2 災害から県民の命と財産を守る取組

- (1) 公共事業量の安定的確保について（知 事）
- 問 公共事業量の安定的確保について、知事の所見を伺う。
- 答 公共事業量の安定的な確保に努め、県民の安全性の確保と地域経済の活性化の両輪で県土づくりを推進するためにも、国への働き掛けをはじめ、全力で取り組んでいく。
- (2) 首都直下地震を想定した道路啓開（県土整備部長）
- 問 首都直下地震を想定した道路啓開について伺う。
- 答 国や関係機関、実際に啓開作業に従事する建設業協会などと連携を密にし、互いの顔の見える関係を築き、確実に道路啓開が実施できる様体制強化に努めていく。

- (3) コロナ禍の地震や豪雨等の複合災害を想定した避難所運営訓練（危機管理防砂部長）
- 問 市町村は県のガイドラインに沿った避難所運営訓練をどう実施し、県は市町村をどう支援していくのか。
- 答 実災害の課題を共有し対策を検討するため、現在、市町村職員対象の研修会を開催する準備を進めている。

3 実践的な防災教育

- (1) マイ・タイムラインを活用した防災教育について（教育長）
- 問 まず県立高校でマイ・タイムラインを活用した防災教育を行い、教職員研修を通して、水災害への防災意識を向上させ、この取組を県内小中学校にも普及すべきだ。
- 答 高校生には、各学校の代表を集めた講習会を開催。作成方法を指導し、教員にも各種研修会を活用し普及啓発に努める。小中学校にもこの成果を市町村に広く周知し、マイ・タイムラインを活用した防災教育を進めていく。

- (2) マイ・タイムラインの県民への普及について（危機管理防災部長）
- 問 マイ・タイムラインを県民に普及するための広報は。
- 答 マイ・タイムラインの普及を図るためには、作成する意義や方法をいかに分かり易く伝えるかがポイント。提案の動画配信は効果があり、コンパクトにまとめて県のホームページに掲載し、広く P R していく。

4 「超短時間雇用で多様な雇用機会の創出を」について（知事）

- 問 超短時間雇用に対する所見と本県としての展開は。
- 答 事例を研究し、企業向けのセミナーや障害者雇用の提案の際に積極的に紹介し普及に努める。まずは障害者雇用の分野から成功事例を積み重ね、超短時間雇用による多様な雇用機会の創出を図っていく。

5 LGBTQ への取組について（知 事）

- 問 LGBTQへの理解が県内でも徐々に広がる中、今後の県の取組は。
- 答 まず、L G B T Q の方が働きやすい職場づくりが進む様、県内

企業を対象にオンライン研修を実施する。また、L G B T Q の方々が直面する困難な状況を把握するため、実態調査を現在実施している。結果を踏まえ、必要な支援を実施し、誰もが自分らしく生き生きと活躍できる共生社会を実現したい。

6 警察機能の強化を図る取組について

- (1) 警察官の増員について（知 事）
- 問 今年度の定数外措置拡大は、正に知事の公約に沿うものだが、更に行う考えはあるのか。
- 答 定数外措置の拡大の検討と共に、A I や R P A などを活用した業務の省力化を図り、国に対しても警察官の増員を働き掛けていく。
- (2) 優秀な人材の獲得について（警察本部長）
- 問 優秀な人材を獲得するために、県警察採用募集活動の今後の展開は。
- 答 セミナー等の開催に加え、受験者と双方向通信ができるウェブセミナーの導入や、ホームページを通して、受験者に分かりやすい情報の発信など、有用なウェブツールへの見直しを検討する。

7 「県政に若者の声を反映させよう」について（県民生活部長）

- 問 若者との対話を通してその声を県政に活かし、声を形にすべきと考えるが。
- 答 コロナウイルスの感染拡大により、意見交換がオンラインによらざるを得ない環境が、逆に一対一の活発な対話の機会を拡大するという側面もある。今後、提案も踏まえ、若者との対話を通じてニーズを把握し、声を形にできる様にしたい。



8 中小企業・小規模事業者の BCP 策定支援について（産業労働部長）

- 問 中小企業・小規模事業者の B C P 策定について伺う。
- 答 経営者に対し、危機対応した企業の実例などを紹介するセミナーを開催。
- 国の B C P 認定制度である事業継続力強化計画を速やかに策定できる様、専門家派遣などによる支援を行っていく。

9 改正マンション管理適正化法への本県の対応について（都市整備部長）

- 問 今回の法改正で分譲マンションの管理施策の主体が県と市で明確になる中、県の役割とマンション管理士等の専門家の活用をどう考えているのか。
- 答 基本方針の中にマンション管理適正化推進計画策定の促進に向けた考え方を盛り込むなど、法改正を反映したものに見直していく。各市が危機感を持ってマンション問題に取り組む様、働き掛けていく。県内全市町村や管理組合に対して、あらゆる機会を通じてアドバイザー制度を周知し、専門家の活用を促すことで、マンションの適正な管理を推進していく。

10 「埼玉県 150 周年、県民に希望を発信しよう」について（県民生活部長）

- 問 県民に希望を与えるために、埼玉 150 周年記念事業をどう進めるのか。
- 答 本年 7 月 31 日から特設ウェブサイトを開設。このサイトで、地域で頑張る人たちの笑顔や思いを動画に載せて発信し、多くの方に元気と勇気を届けていく。
- また、150 周年のロゴやキャッチコピーを公募、決定して県民の機運を高めながら、来る 11 月 14 日の県民の日に、1 年前イベントを開催したい。

埼玉県議会議員【草加市選出】

のりあき
がもつ徳明

県議会ニュース

2020. 冬号

草加市新里町 1422 番地
☎ 048-929-2366

県政に関するご意見
ご要望をお寄せください。
TEL048-822-9606
FAX048-822-9408
公明党埼玉県議団ホームページ
www.komei-saitama.com

GAMOU NORIAKI REPORT SAITAMA SOKA

**コロナ対応と共に、
県民・草加市民から届けられる
様々な声を受け止めて議員活動、
議会活動を進めています！**

南 1 区草加市
県議会議員
蒲生 徳明

県民の皆様、そして草加市民の皆様。
日頃より、私蒲生徳明の県政活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
今回の県政報告は、本年夏以降（前号以降）のコロナ対応など、主な議会活動や要望活動、そして最近の議会質問についてご報告させていただきます。
これからも、皆様から寄せられるお声を真剣に受け止め、その声をかたちにして埼玉県、地元草加市の発展に尽してまいります。皆さまの、尚一層のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

最近の主な活動から（前号での掲載以降の活動）

①コロナ対策

- ◆県民の生の声を、大野知事はじめ県執行部に届ける迅速な要望活動（公明党県議団）
※県民・草加市民、医療現場、各種事業者の皆様の声を直接お聞きし、その度ごとにオンタイムで要望活動を行いました。
（詳細は公明党埼玉県議団ホームページをご覧ください）
今後も 1 日も早いコロナの終息を目指し、県民の皆様の声を行政につないで参ります。



2020.9.25 接触確認アプリによる検査強化を求める知事要望書提出の写真

②県民の様々な声を受け止めて

- 2020 年 9 月 8 日～10 日
◆現場の声を政策に反映・各種団体との意見交換会を開催

- ・公明党埼玉県議団主催で、意見交換会を開催しました。今年は、3 日間で 54 の各種団体が参加。新型コロナウイルス感染症対策を行った上で、国会議員も同席し、2 グループに分かれ要望をお聞きました。



- 7 月 17 日 ◆改正マンション建て替え円滑化法などについて意見交換

- ・参議院議員会館で、西田まこと参議院議員、萩原、橋詰両県議、マンション管理士会の皆様と、先日成立した「改正マンション建て替え円滑化法」等について国土交通省職員から概要を伺い、意見交換をさせていただきました。



- 8 月 3 日 ◆（一社）日本フィットネス産業協会の皆様の知事要望に同行

- ・コロナ禍で経営困難な課題を持つスポーツジム等を経営する（一社）日本フィットネス産業協会の皆様と知事が、直接意見交換を行う場を持たせていただきました。



- 8 月 25 日 ◆東京電力パワーグリッド（株）川口支社を視察

- ・草加市をはじめ 6 市 1 町で、約 87 万件に電力を供給する東京電力パワーグリッド（株）川口支社を視察し、制御や配電変電保守の業務概要説明を受け、災害時、平時の電力供給の在り方、整備等について意見交換を行いました。



- 9 月 8 日 ◆特別支援学校のスクールバスの運行に関する保護者からの要望を受け、県執行部と意見交換。

- ・地元草加市の児童生徒も通学する「埼玉県立越谷特別支援学校」の通学バスの運行に関して保護者から要望を受け、県執行部と意見交換を行った結果、県から改善に向けた具体的な回答がありました。



- 10 月 13 日 ◆東埼玉道路の延伸等の要望：議連副会長として参加

- ・「東埼玉道路建設促進期成同盟会」と「国道 4 号東埼玉道路・建設促進連絡協議会」から県議会議員・議員連盟への要望活動が議事堂内で行われました。



- 11 月 13 日 ◆（公社）埼玉県宅地建物取引業協会埼玉東支部と意見交換

- ・（公社）埼玉県宅地建物取引業協会埼玉東支部の役員の皆様と、参議院会館内で東埼玉道路の事業進捗状況、道路整備とまちづくりの振興等について、西田まこと参議院議員と共に意見交換を行いました。



- 12 月 1 日 ◆連合埼玉より要望を受ける

- ・公明党県議団として、連合埼玉の皆様からの政策要望をお聞きました。



- 12 月 17 日 ◆（一社）埼玉県トラック協会の皆様からの政策要望

- ・公明党県議団として、（一社）埼玉県トラック協会の皆様からコロナ禍対応を含む政策要望を受け、意見交換を行いました。



③赤羽一嘉 国交相への要望活動

2020 年 8 月 27 日

- ◆「浦和野田線建設促進期成同盟会」による大臣要望に同行
- ◆5 市 1 町の首長による東埼玉道路高速事業化の御礼に同行



- ・赤羽一嘉国土交通相に、埼玉、千葉両県内の自治体の首長らでつくる「浦和野田線建設促進期成同盟会」が、浦和野田線の早期完成を求める要望を行いました。
- ・又、令和 2 年度予算で新規事業 2,000 億円の予算化（八潮～松伏）が実現した東埼玉道路の高速道路事業化について関係市町の首長の皆様と共に御礼に伺いました。

④石井啓一前国交相と意見交換

2020 年 9 月 4 日

- ・新たな地域振興、物流環境の改善を求め、石井前国交相と東部地域の首長、団体との意見交換に同席。



⑤現場視察：調査なくして発言無し

2020 年 11 月 2 日

- ◆太田元国交大臣に同行し県内資源リサイクル企業を視察

- ・循環型社会の構築に向けた民間の取り組みを探るため、太田昭宏元国交相に同行し、埼玉県三芳町にある石坂産業株式会社を訪れ、産業廃棄物の再資源化を行う現場を視察しました。



2020 年 11 月 18 日

- ◆国立がん研究センターを視察

- ・公明党埼玉県議団で国立がん研究センターを訪問し、患者サポートの現場などを視察。私も、がん対策については何度か議会質問で取り上げてきました。がん対策は今、「がんとの共生の時代」に入っています。これからも患者と社会をつなぐための取り組みを進めていきます。



【関連実績】

- ☆電話相談を実施し働くがん患者支援(令和 2 年 6 月 12 日公明新聞掲載分)

埼玉県は、働くがん患者の治療と仕事の両立を支援するための相談窓口「がんワンストップ相談」を、6 月から電話による相談形式で実施している。

県は昨年 7 月から、県内在住か在勤で就労中のがん患者を対象に、がんワンストップ相談を開始した。看護師や医療ソーシャルワーカーなどの専門家が、治療や経済面などの相談に対応。がん患者が終業後に利用できるように月 2 回、平日の夜間に実施している。

新型コロナウイルスの影響で、対面による相談をしばらくの間休止していたが、今回、電話による相談形式で再開。相談日は県ホームページに掲載している。

蒲生徳明議員は 2016 年 12 月定例会で、がん患者の悩みや不安解消に向け病院外への相談窓口設置を提案していた。

⑥議会活動

- ◆令和 2 年 6 月定例会は 6 月 15 日～ 7 月 3 日まで行われました。
- ◆令和 2 年 9 月定例会は 9 月 24 日～ 10 月 14 日まで行われました。
- ◆令和 2 年 12 月定例会は 11 月 30 日～ 12 月 18 日まで行われました。

2020 年 10 月 1 日

- ◆公明党を代表して一般質問に立ちました。(詳細は別面)
- 10 月 14 日・12 月 18 日
- ◆危機管理・大規模災害対策特別委員長報告を行いました。



10 月 14 日

- ◆県議会 9 月定例会が閉会「令和 3 年度予算編成に対する要望・施策」を提出

- ・9 月定例会最終日に公明党県議団は、大野元裕知事に、令和 3 年度予算編成に関する要望書を提出。県民や県内各種団体からの声を踏まえた重点要望を含む全 286 項目の実現を要請。(詳細は県議会公明党ホームページに掲載)



⑦最近の質疑から

①令和 2 年 2 月定例議会 予算特別委員会局別質疑



- ◆3／11 (企画財政部) 答弁者：企画財政部長

質問・答弁概要①

- 問 5 G 社会を見越した新たな交通インフラ整備は、有識者会議のテーマの一つになるのか。
- 答 5Gを見据えた自動運転などの新たな技術についても議論を進めていく。

質問・答弁概要②

- 問 新技術の専門性を持つ人も有識者会議に入るのか。
- 答 会議に入って議論していただくか、有識者会議として情報をお聞きした後に議論するのか、検討したい。

質問・答弁概要③

- 問 交通ネットワーク再編事業について、県はどの様に市町村を支援していくのか。
- 答 市町村の声を踏まえ、新たな補助金を活用し、自治体の再編につなげたい。

質問・答弁概要④

- 問 A I 活用による県民サービス向上事業・埼玉コンシュルジュについて、県民の利用度をどう拡大していくのか。
- 答 S N S、あらゆる広報媒体、県のホームページを活用して周知したい。又、外国語を話す方にもしっかり周知したい。

質問・答弁概要⑤

- 問 公衆 W i - F i のセキュリティの不安が寄せられている。危険なサイト利用で被害を受けない様、万全なセキュリティ体制は。
- 答 違法有害なサイトの接続を制御、制限する設定を行い、セキュリティを確保したい。

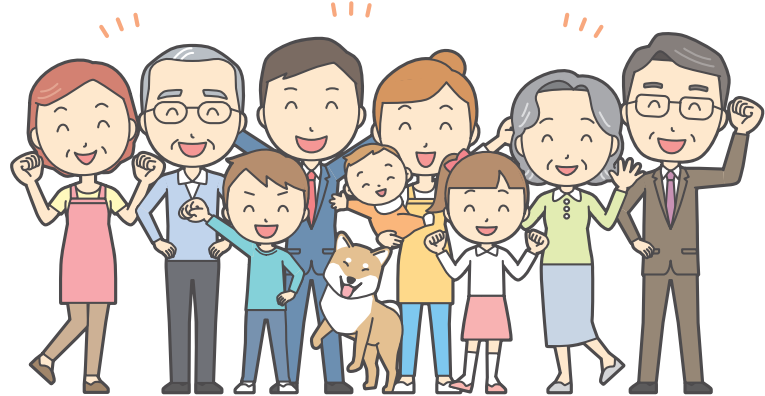
- ◆3／16 (教育局) 答弁者：教育長

質問・答弁概要①

- 問 いじめ撲滅に向けた新年度の取り組みは。
- 答 教員研修や各種会議等を通して、教員一人一人のいじめに対する感度を上げたい。

質問・答弁概要②

- 問 特別支援学校整備事業について令和 3 年に予定どおり 100 名程度減少になるのか。
- 答 通学区域の再編と併せ、県南部地域特別支援学校の開校で、当初の見込み通り 100 名程度の減少を見込んでいる。



質問・答弁概要③

- 問 地元の草加かがやき特別支援学校など、知的特別支援学校の過密解消が一時的な解消にならない様、今後どう取り組むのか。
- 答 児童生徒数の推移を注視しながら、県有施設等の活用で新設校や高校内分校の設置、校舎増築など、可能性のあるものすべてについて検討していく。

質問・答弁概要④

- 問 県立学校・ICT環境整備事業について、効果を出すための取り組みは。
- 答 障害のある子ども達がタブレット端末等を有効に活用できる様、障害特性に応じたアプリや、視線入力装置など、補助入力装置等の整備も予定している。又、教員研修や公開研究事業を通じて、I C T を効果的に活用した教育活動を推進したい。

- ◆3／17 (危機管理防災部) 答弁者：危機管理防災部長

質問・答弁概要①

- 問 「地区防災計画」を今後どの様に普及させていくのか。
- 答 市町村訪問や、定期的に市町村防災担当課長会議を開き、地区防災計画の必要性や効果について全国の取組事例を紹介し、リーダーづくりを積極的に進めて策定が進む様にしたい。

- ◆3／17 (警察本部) 答弁者：警察本部生活安全部長

質問・答弁概要①

- 問 来年度以降、警察官の安全をどう確保するのか。
- 答 全ての交番に防犯カメラ、全ての駐在所には簡易緊急通報装置を順次整備。装備面では、警察官着装の対刃防護衣の防護性の強化。交番や駐在所に操作しやすい透明の盾、催涙スプレーを配備する。

②令和 2 年 2 月定例議会 予算特別委員会総括質疑

- ◆3／19 答弁者：知 事

質問・答弁概要①

- 問 東西方向の新たな高速道路ネットワークの必要性について知事の考えは。
- 答 新たな東西路線は、首都圏を更に強靱化させる。日本の将来を約束する広域的な環状道路の重要性を国に対しても働き掛けていく。

質問・答弁概要②

- 問 今後、埼玉県全体の道路整備を具体的にどう進めていくのか。
- 答 私の公約「あと数マイルプロジェクト」で、幹線道路の未接続部分について取り上げている。これらの解消や暫定的な 2 車線区間の多様化を進めていく。

質問・答弁概要③

- 問 「新たなモビリティサービスによる『まち』づくり協議会」の目指す次世代モビリティサービスの活用についてどう考え、どう支援していくのか。
- 答 公共交通の利便性向上のために複数の市町村が連携した取組を補助できる令和元年度創設の補助制度を活用し、支援をしたい。

質問・答弁概要④

- 問 新たな地方法人課税の偏在是正で増額した歳入（西田参議院議員が実現）を知事はどの様に評価しているのか。
- 答 今回の改正で、我々の要望に沿った偏在是正措置が講じられたことを評価しています。

- ◆蒲生徳明委員

- 問 歳入増は、地域社会の維持再生のためにという本来の趣旨にのっとり、偏在是正措置の効果を実感できる様、埼玉を元気にする分野の施策に力を入れるべきだ。
- 答 貴重な財源です。歳入増については、地域活性化のために活用したい。安心と元気の観点を重視し、日本一暮らしやすい埼玉県をつくるための一助としたい。